

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 035	提案機関名 神奈川県 畜産課
要望問題名 未経産牛からのOPUによる後継牛確保について	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 酪農経営の安定化のため、確実な後継牛の確保は重要であることから、かながわ酪農活性化対策事業のプランニング事業では、モデル農家に対し選別精液を活用し効率的に後継牛を確保する交配計画の提案している。モデル農家にその効果が現れることで、周辺酪農家でも積極的に選別精液が活用されるようになってきている。 さらに、近年、乳牛におけるゲノミック評価も普及しつつあり、未経産牛の遺伝的評価ができるようになってきている。そのような遺伝的評価の高い未経産牛からOPUにより、産子を確保することで、効率よく優良な後継牛確保でき、生産性の向上につながると期待できる。 そこで、乳牛の未経産牛のOPUにおいて、採卵後の繁殖成績に影響を及ぼさず、安定的に採卵する方法と、さらに受胎率の高い胚の生産技術を確立していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 未経産牛におけるOPUを用いた後継牛確保対策（令和2～6年度）			
対応の内容等 昨今、ゲノミック評価を活用した効率的な育種改良や優良牛群の整備が各地域で進められており、県内の酪農家においても利用している事例があります。 当所では、かながわ酪農活性化対策事業において酪農家の希望する雌牛に対してOPUによる後継牛生産に取り組んでおり、既に未経産牛への技術利用の希望も現れています。ご提案の内容については、OPUを利用した未経産牛からの胚生産成績を向上するために、牛の月齢、前処理方法、OPU後の繁殖成績への影響等について試験を実施しています。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			